

今 利 一

(市民連合)

エキノコックス対策は
農地・水・環境保全向上

対策事業で実施検討

問 私は、今まで人間が自然とどうか合い、自然とどう調和して行ったら良いかという観点から多くの一般質問をして来た。エキノコックス対策もそうした共存共栄の観点から質問。北海道の風土病とも言われているエキノコックス症は、キタキツネの「糞」を媒介にして感染する。いったん人の体内に取り込まれたエキノコックスは、特に肝臓で増殖。放置しておく



キツネに注意

と死に至る。感染後、発症までの潜伏期間は10年以上。市はこれまでの対策として「感染しているかどうか、感染していた場合早期の治療を促す」などの感染後の対策に重点がおかれていた。しかし、今日キタキツネからエキノコックスを駆除する「駆虫剤」が開発されている。

キツネの餌となるものに駆虫剤を混入させたもの。本市での「駆虫剤」で対策を講じた場合の餌代が約36万円、その他に市民の皆様方の協力が必要となってくるが、農業と観光の街の本市にとっては、非常に重要な対策である。また、市長が常日頃いう「農村観光都市形成」はこの延長線上にあるのではないか。エキノコックスの今後の対応は。

答 各地域で色々な取り組みをしている。広い意味で言えばエキノコックス対策も「環境対策」の一つである。農地・水・環境保全向上対策事業の中で、地域でどう取り組むかを検討。

また、各関係団体と質問の主旨を踏まえて、話をさせていたいく状況を作って行きたい。

広瀬 寛 人

(無所属)

入札改革(総合評価方式)は

問 発注業務と経済効果の認識は。

答 優良企業の受注機会の拡大、低入札による利益率の低下の防止など、地元事業者の健全な発展と雇用等が見込まれ経済効果も現れると考える。

問 納税事業者拡充の戦略は。

答 「地場産業の育成に努める」旨の趣旨に沿って行い、公共の物品の調達についても市内事業所からの調達を基本と考える。

国民年金保険料の実態と
無年金者回避は

問 加入・支給実態。

答 加入状況は第1号被保険者4272人、任意加入63人、第3号被保険者2049人で総数6384人。法定免除356人、申請免除は全額が451人で免除総数は1150人。支給状況は老齢基礎年金が4592件で32億4075万円、老齢基礎年

金が836件で4億7029万円。

問 無年金者回避の助言活動は。

答 保険料免除制度、学生給付特例制度、若年者納付猶予制度について啓蒙活動を行っている。窓口での相談・助言は平成19年度で約4500件。



水処理センター

地方公営企業における
民間的手法の導入は

問 民間的経営手法の導入調査の考えは。

答 包括委託については、本年度より下水道の水処理センター運転管理を、複数年で市内企業が共同で設立した組合に包括的業務委託を行っている。